

# 6月下旬以降、高温・多雨傾向が続いています。 水管理を徹底して適正な生育量を確保しましょう

<生育状況> (7/4 調査：射水市管内生育調査田平均「コシヒカリ7ヶ所、近年 H15~22」「てんたかく3ヶ所、近年 H16~22」)

品種	田植日	草丈 (cm)	茎数		葉令	葉色	幼穂形成期	出穂期
			本/株	本/m <sup>2</sup>				
コシヒカリ	今年	5/14	63.8	26.7	495	11.3	4.5	予想(7/15)
	去年	5/15	66.5	25.4	500	11.5	4.4	7/16
	近年	5/11	66.0	26.9	499	11.6	4.0	7/14
てんたかく	今年	5/2	72.9	35.4	652	12.6	4.7	7/2
	去年	5/4	72.1	32.4	578	12.3	4.5	7/1
	近年	5/3	70.7	32.6	607	12.4	4.3	7/2

◎「コシヒカリ」：草丈はやや短くなっていますが、茎数は近年並、葉色は濃いめとなっています。  
幼穂形成期（幼穂長 2mm）は、7/15 頃と予想されます。

◎「てんたかく」：生育は順調に進んでいますが、茎数は多めになっています。7/2 に幼穂形成期を迎えました。  
出穂期は 7/24 頃と予想されます。

## 1. カメムシ対策 ～今年も多発傾向！～

カメムシ等すくい取り調査結果(6/28・射水市管内調査)

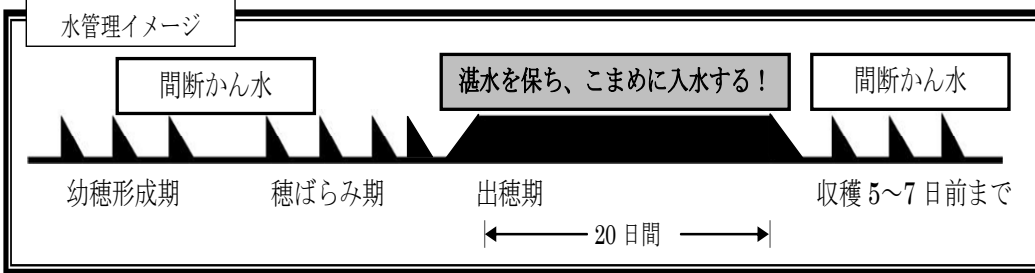
年	雑草地			大麦跡ほ場(未耕起ほ場)		
	発生地点割合(%)	発生頭数頭/ヶ所	調査地点数	発生地点割合(%)	発生頭数頭/ヶ所	調査地点数
H23	83	5.7	36	92	18.6	13
H22	89	4.5	36	92	5.5	12
H21	92	6.1	36	100	22.5	6

・カメムシ生息地となる雑草地の草刈り徹底をお願いします。

県下一斉草刈り運動期間 ～7/10

・大麦跡ほ場は、7 月中旬までに耕起を行って生息地を無くしましょう。クロタラリア等の緑肥作物の作付も有効です。

## 2. 水管理 ～出穂後 20 日間の湛水にむけて～



・出穂期まで**間断かん水**を！  
・ほ場が柔らかい場合は、干しぎみに管理してください。  
・幼穂形成期に足跡 3cm 程度が土の硬さの目安です

## 3. コシヒカリの追肥対応について

・葉色の濃いほ場が多くなっています。安易な追肥は行わないでください。

## 4. 「てんたかく」の防除 【コシヒカリ等については次回7号でお伝えします】

	穂揃期(出穂3~5日後) 7/27~7/29 頃	傾穂期(出穂 10~13 日後) 8/3~8/6 頃
粉剤	ノンプラストレホン粉剤 DL 4kg/10a	ラブサイトキラップ粉剤 DL 4kg/10a
液剤	ノンプラスフロアブル:1,000 倍 トレボン乳剤:1,000 倍 150L/10a	ラブサイトフロアブル:1,000 倍液 キラップフロアブル:1,000 倍液 150L/10a

	出穂の5~10 日前 7/14~7/19 頃
粒剤	コラトップダントツ1キロ粒剤 1kg/10a
	※散布後4~5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水しないでください。

作業が終わったら、生産履歴とGAPチェックシートを記入しましょう。

農家の皆さんへ

射水市農業技術者協議会

## 高品質で安全な富山米を安定して生産するために

- 稲体の活力維持とカドミウムの吸収抑制のため、出穂期からは 20 日間の湛水管理に入ります。
- 湛水管理開始に向けて
  - ・ 今から、集落内や近隣集落との湛水期間中の用水管理や水利用調整を進めましょう。
  - ・ 出穂の 1 週間前頃からは、徐々に湛水気味管理に切り替えましょう。

作業	取り組み技術・ポイント	ねらい
中干し後	<p>● 手溝の手直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に枕地やほ場の軟らかい部分を重点に</li> </ul> <p>● 間断かん水で、ほ場の土の硬さ（目安参考）を管理（軟らかいほ場：目安までは干し気味管理）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【幼穂形成期の硬さの目安】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常：足が 3 cm 沈む程度</li> <li>・ 粘湿田、排水不良田→やや硬め</li> <li>・ 砂質乾田、転作跡田、水不足地区など→やや軟らかめ</li> </ul> </div>	<p>収穫時の</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ほ場の排水性確保</li> <li>● ほ場の硬さ確保</li> </ul>
出穂 1 週間前 ~ 出穂期	<p>● 水利用調整(水不足地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集落内、近隣集落との利水調整（湛水開始時期や通水ローテーション）</li> <li>・ ため池等水源状況確認</li> </ul> <p>● 慣らし湛水操作(出穂 1 週間前頃から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 徐々に湛水気味の管理に切り換える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水の有効利用</li> <li>● ほ場湛水能力回復</li> <li>● 稲の根腐れ回避</li> </ul>
出穂期	<p>● 湛水開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常地区は出穂期より開始</li> <li>・ 水不足地区は出穂 1 週間前頃から順番に開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 湛水状態確保</li> <li>● 水の有効利用</li> </ul>
出穂期 ~	<p>● 湛水（出穂期から 20 日間）</p> <p>&lt;湛水の深さ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常に田面が露出しない深さ（2~3 cm 程度）</li> <li>・ かけ流しかんがいはしない。</li> </ul> <p>● 出穂後 20 日以降は間断かん水</p> <p>● 収穫 5~7 日前・・・落水</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 稲体の活力維持</li> <li>● カドミウム吸収抑制</li> <li>● 収穫準備</li> </ul>

収穫時にコンバインが沈まぬよう、幼穂形成期までに土を干し固める

